

次期埼玉県生物多様性保全戦略(素案)(第1回改定検討委員会意見反映版)について①

第4章 ネイチャーポジティブの実現に向けて

1 横断的・基盤的戦略

(1)戦略① 生態系の健全性の回復

- OECM*の取組の支援、促進
- 希少野生動植物の保全
- 特定外来生物対策
- 野生鳥獣の適正な保護管理
- 生態系に配慮した持続可能な農業の推進

指標	現状値	目標値(R8)
「自然共生サイト」認定数	－	8件(累計)
希少野生動植物種の新規保護増殖箇所数	－	10件(累計)
ニホンジカ個体数	8,899頭 (H23)	4,450頭
イノシシ個体数	3,076頭 (H23)	1,538頭

*法令や制度等に基づく自然環境の保護地域以外で地域、企業、団体等によって生物多様性の保全が図られている場所。

(2)戦略② 取組を支える基盤整備

- 動植物に関する情報の収集・管理・発信
- 多様な主体と協働した保全活動の促進
- 普及啓発・担い手育成
- SDGs官民連携の推進

指標	現状値	目標値(R8)
埼玉県生物多様性保全プラットフォームの年間アクセス数	－	2万人/年
環境科学国際センター利用者数(累計)	977,031人 (R2)	1,246,000人
県民調査報告件数	－	5,000件(累計)
生物多様性地域戦略策定市町村の割合	15.9% (R4)	22%
生物多様性の認知度	70.3% (R3)	75%以上
自然ふれあい施設の利用者数	130,740人 (R4)	156,800人

次期埼玉県生物多様性保全戦略(素案)(第1回改定検討委員会意見反映版)について②

第4章 ネイチャーポジティブの実現に向けて

2 生態系エリア別戦略

(1)戦略① 多面的機能を発揮する森林の豊かな環境を守り、育てる

- 多様な森林づくりの推進
- 野生鳥獣の個体数管理による森林生態系への被害防止
- 森林生態系の保護の推進

指標	現状値	目標値(R8)
森林の整備面積	—	12,500ha(累計)

(2)戦略② 里地・里山の多様な生態系ネットワークを形成する

- 里地・里山整備の促進による生物多様性の向上
- 緑の保全の推進

指標	現状値	目標値(R8)
緑の保全面積	557ha (R2)	569ha

(3)戦略③ 多様な水域が有機的に結びついた生態系ネットワークを形成する

- 多自然川づくりの推進
- 湿地生態系保全の推進
- 生態系に配慮した持続可能な水田耕作の推進

指標	現状値	目標値(R8)
SAITAMAリバーサポーターズの個人サポーター数(累計)	0人 (R2)	24,000人

(4)戦略④ 人と自然が共生する都市をつくる

- 身近な緑の創出の促進
- **生物多様性に配慮した**都市公園の整備による緑の創出
- 緑の保全の推進【再掲】
- 都市化に伴う野生鳥獣の適正な保護管理

指標	現状値	目標値(R8)
身近な緑の創出面積	—	250ha(累計)
緑の保全面積【再掲】	557ha (R2)	569ha